

## 子育て Q&A

Q 早期教育の必要性についてお聞きしたいです。

A 「早期」ということは、本来は幼児期には行わない教育を、幼児期の時間を使って早い時期から行う、ということです。ですから、本来幼児期に必要な経験をするべき時間が失われる、と考えるべきです。乳幼児期は、心地良い安心感とゆったりとした時間の中で心と身体、感覚を使って遊ぶことが必要な時ですから、そこに早期教育が必要かと問われれば、必要ですとは言えません。

早期教育は、将来の為に幼児期の大切な時間を使うものです。コルチャックという教育者は、今の子どもを見ないで将来に期待する姿ばかりを見ている大人に対して「今日という日に対する子どもの権利」を訴えました。将来の子どもにばかり期待する大人に対して彼はこう言っています。

「あたかも子どもをまだ存在しないかのように見ており、今後存在するようになるもの、まだ見知らぬ、今後知るようになるであろうもの、

まだできないが、いつかできるようになるであろうもの、そういうものとして見ている」(J.コルチャック)

それでも、将来の為に早期教育を受けさせたいと考えるのも親心でしょう。もし早期教育を受けさせるとしたら、子どもにとって無理がなく、ゆったりした時間の中で、楽しく、短時間で行えるものが良いでしょう。その場合でも、子どもの本業は、身体と心、五感を使う遊びであって、早期教育は副業、と考えて頂きたいと思います。

(回答：小田倉 泉先生 教育学部乳幼児教育講座)



埼玉大学教育学部附属  
こどもの育ち応援センター